

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：男女共同参画推進費

事業名 女性のつながりサポート支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 男女共同参画推進課 男女共同参画係

電話番号：058-272-1111(内3575)

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,500 千円 (前年度予算額： 7,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	182社 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,500	3,750	0	0	0	0	0	0	3,750
要求額	7,500	3,750	0	0	0	0	0	0	3,750
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べ、全世代において不安を抱える女性が増している。
- ・社会との絆・つながりが薄くなり、不安を抱える女性や、寄り添った支援が必要にもかかわらず、支援が届いていない女性がいる。
- ・不安を抱える女性が、孤独・孤立に陥らないよう、アウトリーチ型支援(訪問支援)や居場所づくりを行い、必要な支援につなげる必要がある。

(2) 事業内容

孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、NPO等の知見を活用したきめ細かい支援事業を実施する。

- ・相談窓口の設置
- ・県内NPO等を活用した訪問支援や居場所の提供
- ・生理用品の配布
- ・関係機関との意見交換会の実施
- ・相談内容の取りまとめ

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・地域女性活躍推進交付金 1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	109	連絡調整
役務費	34	電話代・郵便代
委託料	7,344	訪問・居場所等の支援
その他	13	
合計	7,500	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県男女共同参画計画(第5次)

(2) 国・他県の状況

- ・孤独・孤立対策に取り組むNPO等への支援のうち、女性に寄り添った相談支援の実施。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

不安を抱える女性が、孤独・孤立に陥らないよう、アウトリーチ型支援や居場所づくりを行い、必要な支援につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

指標の設定になじまない

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>（取組内容）</p> <p>(1) 訪問支援件数 727件</p> <p>(2) 居場所の提供件数 1070件</p> <p>(3) 生理用品の提供数 3,922パック</p> <p>（成果）</p> <p>孤独・孤立を抱える女性に適切な支援を行うことができた。</p>
令和5年度	<p>（取組内容）</p> <p>(1) 訪問支援件数 638件</p> <p>(2) 居場所の提供件数 1066件</p> <p>(3) 生理用品の提供数 3,184パック</p> <p>（成果）</p> <p>孤独・孤立を抱える女性に適切な支援を行うことができた。</p>
令和6年度	<p>（取組内容）</p> <p>(1) 訪問支援件数 504件</p> <p>(2) 居場所の提供件数 1223件</p> <p>(3) 生理用品の提供数 2,936パック</p> <p>（成果）</p> <p>孤独・孤立を抱える女性に適切な支援を行うことができた。</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することで、働く女性が本来の力を発揮しながらキャリアを継続することが出来る。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	ネット申請件数が増加しており、本事業の周知が行われている。支援内容等の分析により県内女性の抱える問題を把握し、関係団体と連携できている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	居場所の提供時にイベントを実施するなど、効果的に県施策の周知につなげることができる。

(今後の課題)

(1) 女性の継続就業を困難とする問題の、NPO団体等による把握 (2) NPO団体等各関連機関による連携した支援 (3) 女性の継続就業のための支援

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 不安や孤独を抱えている女性が増えており、NPO団体と連携し、不安を抱えた女性のための居場所づくりや、訪問支援・相談窓口の設置を実施し、必要な支援につなげる必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】